

# 平成28年度第1回紀の川市地域公共交通会議議案

平成28年6月13日

## 議案第 1 号

紀の川市地域公共交通会議副会長の選任について

紀の川市地域公共交通会議設置要綱第 4 条第 1 項の規定に基づき、副会長を選任する。

平成 2 8 年 6 月 1 3 日提出

## 議案第 2 号

平成 2 7 年度事業報告について

- 平成 2 7 年度紀の川市地域巡回バス利用実績及び市運行補助金の支出状況について

別添「資料 1」のとおり

- 平成 2 7 年度紀の川市地域公共交通確保維持改善事業実施報告について

別添「資料 1」のとおり

平成 2 8 年 6 月 1 3 日提出

### 議案第 3 号

平成 27 年度紀の川市地域公共交通会議会計歳入歳出決算について

平成 27 年度紀の川市地域公共交通会議会計歳入歳出決算について、次のとおり報告し、承認を求める。

自：平成 27 年 4 月 1 日

至：平成 28 年 3 月 31 日

#### 【歳入の部】

(単位：円)

科目	予 算 額		歳入済額	説 明
	当初予算額	予算現額		
負担金	0	0	0	
補助金	0	0	0	
繰越金	1,000	1,000	1,102	前年度繰越金
雑収入	0	0	0	
計	1,000	1,000	1,102	

#### 【歳出の部】

(単位：円)

科目	予 算 額			歳出済額	説 明
	当初予算額	流用額	予算現額		
会議費	0	0	0	0	
事務費	0	0	0	0	
事業費	0	0	0	0	
予備費	1,000	0	1,000	0	
計	1,000	0	1,000	0	

歳入済額                      歳出済額                      差引残額  
 1,102 円      -                      0 円      =                      1,102 円  
 差引残額 1,102 円は、平成 28 年度へ繰り越すこととする。

平成 28 年 6 月 13 日提出

## 平成27年度

### 紀の川市地域公共交通会議会計歳入歳出決算監査報告書

平成27年度紀の川市地域公共交通会議会計歳入歳出決算について、諸帳簿ならびに証拠書類を監査したところ、適正であったことを認めます。

平成28年5月20日


紀の川市地域公共交通会議

会長 紀の川市副市長 林 信良 様

監査委員

大山 茂 

監査委員

森 脇 澄男 

## 議案第 4 号

平成 28 年度事業計画（案）について

- 地域公共交通確保維持改善事業に基づく「地域内フィーダー系統確保維持計画」の策定について

別添「資料 2」のとおり

- 移動円滑化基準適用除外認定申請について

別添「資料 2」のとおり

平成 28 年 6 月 13 日提出

## 議案第5号

平成28年度紀の川市地域公共交通会議会計歳入歳出予算（案）について

平成28年度歳入歳出予算は次に定めるところによる。

### 【歳入の部】

(単位：千円)

科 目	予 算 額		比 較	説 明
	本年度予算額	前年度予算額		
負担金	0	0	0	
補助金	0	0	0	
繰越金	1	1	0	前年度繰越金
雑収入	0	0	0	預金利子
計	1	1	0	

### 【歳出の部】

(単位：千円)

科 目	予 算 額		比 較	説 明
	本年度予算額	前年度予算額		
会議費	0	0	0	
事務費	0	0	0	
事業費	0	0	0	
予備費	1	1	0	
計	1	1	0	

平成28年6月13日提出

## 議案第 6 号

紀の川市地域公共交通会議設置要綱の一部改正について

紀の川地地域公共交通会議設置要綱の一部を別紙のとおり改正するものとする。

平成 2 8 年 6 月 1 3 日提出

### 提案理由

紀の川市地域公共交通会議会長の選任方法を変更するため、所要の改正を行う。





概要

紀の川市地域巡回バス

【運行主体】紀の川市

【運行日数】362日

【運行事業者】

○和歌山バス那賀株式会社

(粉河那賀・桃山路線)

○有田交通株式会社

(貴志川路線)



地域公共交通確保維持改善事業

目的、計画、目標 (Plan)

【事業の目的・目標】

- 高齢者等の交通弱者の日常的な移動手段の確保、公共交通空白地域の解消
- 安定した路線維持、サービス供給が行えるように、目標として路線ごとの利用者数を設定

【事業の計画】

- 定時定路線による年間362日の運行



ネットワーク計画等の取組み (Do)

- 平成26年12月：地域巡回バス利用促進のため、那賀病院前において啓発物資（ポケットティッシュ）の配布
- 平成27年4月：近畿大学生物理工学部入学式で、路線図・時刻表を配布



実施状況、目標の達成 (Check)

- 計画どおり年間362日の運行を実施
- 山間部を含めたきめ細かな路線設定により、市内公共交通空白地域の解消に努めた
- 路線ごとの目標利用者数等と実績は以下のとおり

路線名称	H27目標		H27実績		結果
	利用者数	1日あたりの利用者	利用者数	1日あたりの利用者	
粉河那賀路線	17,014人	47.0人/日	14,870人	41.0人/日	目標未達成
桃山路線	14,024人	38.7人/日	14,968人	44.8人/日	目標達成



今後の課題、対応 (Action)

- 粉河那賀路線の目標が達成されていないため、平成28年4月1日に運行を開始した、デマンド型乗合タクシー路線（赤沼田～JR名手駅）を利用し、利便性の向上をはかる
- 利用者の需要状況の検証を進め、改善点を次期地域公共交通確保維持改善計画へ反映

利用実績及び市運行補助金の支出状況

【地域巡回バス利用実績】

路線名称	利用実績(H26)	利用実績(H27)	前年比(%)
粉河那賀路線	14,858人	16,063人	108.1
桃山路線	14,352人	14,513人	101.1
貴志川路線	8,324人	10,329人	124.1
合計	37,534人	40,905人	109.0

【市運行補助金の支出状況】

区分		路線名	金額 (円)	前年比(%)
歳出	運行経費	粉河那賀・桃山路線	49,824,839	108.3
		貴志川路線	11,634,135	102.4
	歳出合計			61,458,974
歳入	運賃収入	粉河那賀・桃山路線	1,849,233	101.6
		貴志川路線	700,570	125.2
	国庫補助金	粉河那賀・桃山路線	19,827,000	83.6
	歳入合計			22,376,803
市補助金 (歳出合計 - 歳入合計)			39,082,171	124.9

事業の目的・目標

- 【事業の目的】 ・ 定時定路線により年間362日の運行することにより、高齢者等の交通弱者の日常的な移動手段の確保及び公共交通空白地域の解消  
 ・ 他の路線バスや駅への接続により、広域的な公共交通ネットワークの形成

【事業の目標設定】

○利用者数の推移

- ・ 平成26年4月1日の路線改正により、各路線共に利用者数が増加
- ・ 路線改正による利用者増加のため、次年度以降は増加幅は減少
- ・ 粉河那賀路線は人口が増えている地域を運行
- ・ 桃山路線は山間部地域を多く運行

路線名称	利用者数			1日あたりの利用者数		
	H26	H27	前年比	H26	H27	前年比
粉河那賀路線	12,286人	14,870人	+2,584人	33.9人	41.1人	+7.2人
桃山路線	11,153人	14,968人	+3,815人	30.8人	41.3人	+10.5人

○目標設定（1日あたりの利用者数）

- 粉河那賀路線・・・年度ごとに+0.5人
- 桃山路線・・・現状維持

路線名称	H28		H29		H30		H31	
	利用者数	利用者数/日	利用者数	利用者数/日	利用者数	利用者数/日	利用者数	利用者数/日
粉河那賀路線	15,100人	41.6人	15,240人	42.1人	15,421人	42.6人	15,602人	43.1人
桃山路線	15,009人	41.3人	14,968人	41.3人	14,968人	41.3人	14,968人	41.3人

【車両の取得について】

地域巡回バス桃山路線を運行している車両が老朽化（登録より9年経過、走行距離70万km）しているため、早急を買換えを行う必要がある。  
 車両購入について国庫補助を受けるため、**車両取得を平成29年度紀の川市地域内フィーダー系統確保維持計画に追加。**

移動円滑化基準適用除外認定の申請について

バスを運行する車両は「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」及び「移動等円滑化のために必要な旅客施設又は車両等の構造及び設備に関する基準を定める省令」に基づき、**移動円滑化基準（バリアフリー）に適合した車両で運行する必要があります。**

しかし、桃山路線は山間部地域を多く運行するため小型車両以外で運行した場合、**安全性の確保が困難**です。

また、1日あたりの利用者数が41.3人となっており、車椅子スペース付きの車両を運行した場合、**座席数が不足する可能性**があります。

これらを状況を考慮し、**現在運行している車両と同タイプ**（車椅子スペースや手すりが無い車両）である乗車定員14人の車両導入を申請します。

【基準適合外箇所】

- ・ 車椅子スペース
- ・ 乗降口のスロープ
- ・ 乗降口の幅
- ・ 通路幅
- ・ 運行情報提供設備等

【車両情報】

メーカー	トヨタ
車両名称	ハイエスコミューター
型式	KDH223B-LEPDY
乗車定員	14人
導入時期	平成28年10月

【車両写真】



### 岩出方面行「丸栖北」バス停の現状

- ・丸栖交差点付近にあるため、バス停車時は危ない。
- ・カーブの途中にあるため、バス停が見通せない。
- ・貴志川支所方面行のバス停と離れている。
- ・丸栖地区の北の端にあるため、地元住民の乗降が不便である。



### バス停位置変更 を検討

### バス停位置変更案

#### 【岩出方面バス停位置変更の条件】

- ・交差点内でなく、安全が確保される
- ・バス停から病院へのアクセスを維持
- ・貴志川支所方面バス停の近くに設置
- ・地域からの要望を反映



### 条件を考慮した 新バス停位置

